

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2005-283844(P2005-283844A)
 【公開日】平成17年10月13日(2005.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報2005-040
 【出願番号】特願2004-95869(P2004-95869)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

F 1 6 C 13/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 0

F 1 6 C 13/00 E

G 0 3 G 15/20 1 0 2

G 0 3 G 15/20 1 0 7

【手続補正書】
 【提出日】平成18年12月21日(2006.12.21)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0049
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0049】

上記において、入力ギア241が駆動部材である。ギア212が、駆動部材としての入力ギア241の駆動力を第一の保持部材としての前ステアリングローラー支持部材210に伝達して該支持部材210を回転させる第一の駆動伝達系である。またアイドラーギア242とギア243aが、駆動部材としての入力ギア241の駆動力を第二の保持部材としての後ステアリングローラー支持部材220に伝達して該支持部材220を回転させる第二の駆動伝達系である。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0067
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0067】

【図1】本発明に従うベルト寄り制御機構を適用したベルト方式定着装置を具備させた画像形成装置の一例の概略構成模型図

【図2】画像形成装置の画像形成ステーション部分の拡大図

【図3】ベルト方式定着装置部分の拡大横断面模型図

【図4】定着ベルトユニット（定着ベルトは図示せず）を前側から見た斜視模型図

【図5】定着ベルトユニット（定着ベルトは図示せず）を奥側から見た斜視模型図

【図6】図4の矢印X側から見た、途中部分省略の正面図

【図7】ステアリング制御部の前端部側を上方から見た図

【図8】定着ベルトユニットを支持する前パッド加圧板と後パッド加圧板を示した図

【図9】定着ベルトユニットを前パッド加圧板、後パッド加圧板に装着した状態の前パッド加圧板側を示す図

【図10】定着ローラーに定着ベルトユニットを加圧する加圧機構を示す図

【図 1 1】図 1 0 の矢印 K 側から見た図

【図 1 2】加圧機構の説明図

【図 1 3】定着ベルトユニットが定着ローラーから離間している状態を示している図

【図 1 4】定着ローラーから定着ベルトユニットが離間している状態の前パッド加圧板部の状態を示している図

【図 1 5】ステアリング駆動部を示している図

【図 1 6】従来のベルト方式定着装置のベルト寄り制御の説明図

【図 1 7】ベルト寄り制御によりエンドレスの定着ベルトの一端側開口のみが広がった状態を示した図

【図 1 8】ベルト寄り制御によりエンドレスの定着ベルトの両端側開口が同等に広がった状態を示した図